

地域緩和ケア連携調整員フォーラム

熊本県の取り組み ー都道府県がん診療連携 拠点病院の立場からー

熊本大学病院

がん相談支援センター/緩和ケアセンター
MSW 内重 真由美

2024.07.27 国立がん研究センター がん対策研究所

- 熊本県の概要
- 熊本における緩和ケア・地域連携における取り組み
- 地域緩和ケア連携調整委員会立ち上げの経緯と展望

熊本県の概要

- 総人口 : 1,706,741人 (2023.12)
- 高齢化率 : 県32.1% (2022) 全国23位
- 医療圏 : 熊本・上益城、宇城、有明、鹿本、菊池、阿蘇、八代、芦北、球磨、天草の10の医療圏
- 県の中央部に位置する熊本市は、面積390.3km²で県の面積の約5%占め、人口は約73万人、県の約40%を占めている。
- 熊本・上益城圏域には基幹的な医療機関や医療に関わる人材が集中しており、地域における機能分化や連携の推進が求められている
- がん患者死亡者数 : 5,552人 (2022)
- 緩和ケア病棟 : 15施設
- 在宅療養支援診療所 : 231か所



特定機能病院

第三次医療の高度急性期医療機関

都道府県がん診療連携拠点病院

◆ 病床総数 845床

(一般795、精神50)

◆ 医師数 733人

◆ 看護師数 883人

患者数（2023年度）

◆ 入院延べ患者数 246,646人

◆ 新入院がん患者数 4,576人

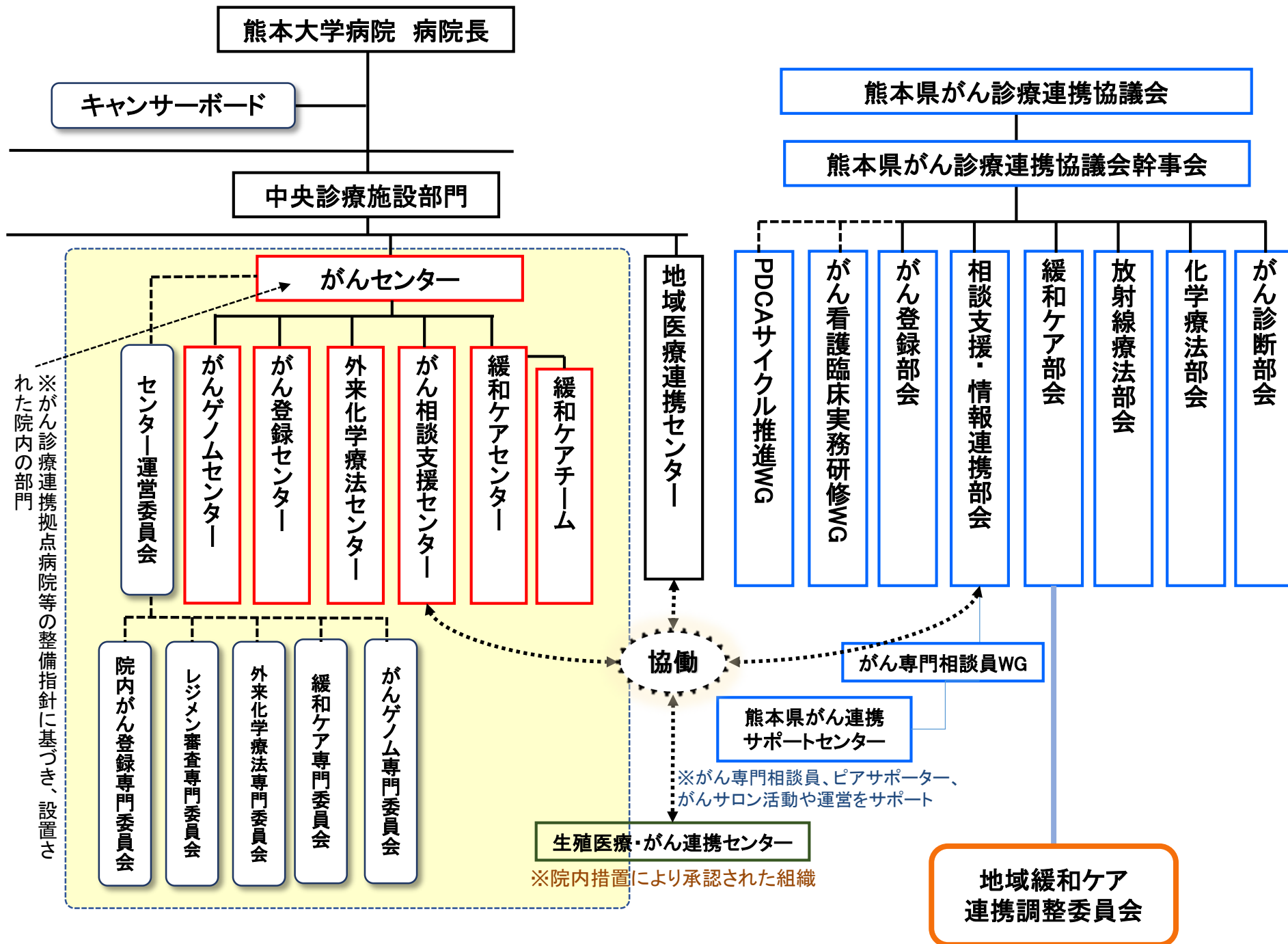
◆ 年間外来がん患者延べ数 115,424人

◆ 年間外来がん患者数 13,609人

◆ 院内死亡患者数 200人

◆ 院内死亡がん患者数 125人

熊本大学病院 がんセンター 組織図 (2024.4.1現在)



がん診療連携拠点病院

県内のがん診療連携拠点病院マップ

※地図上の番号をクリックすると病院名が表示されます。

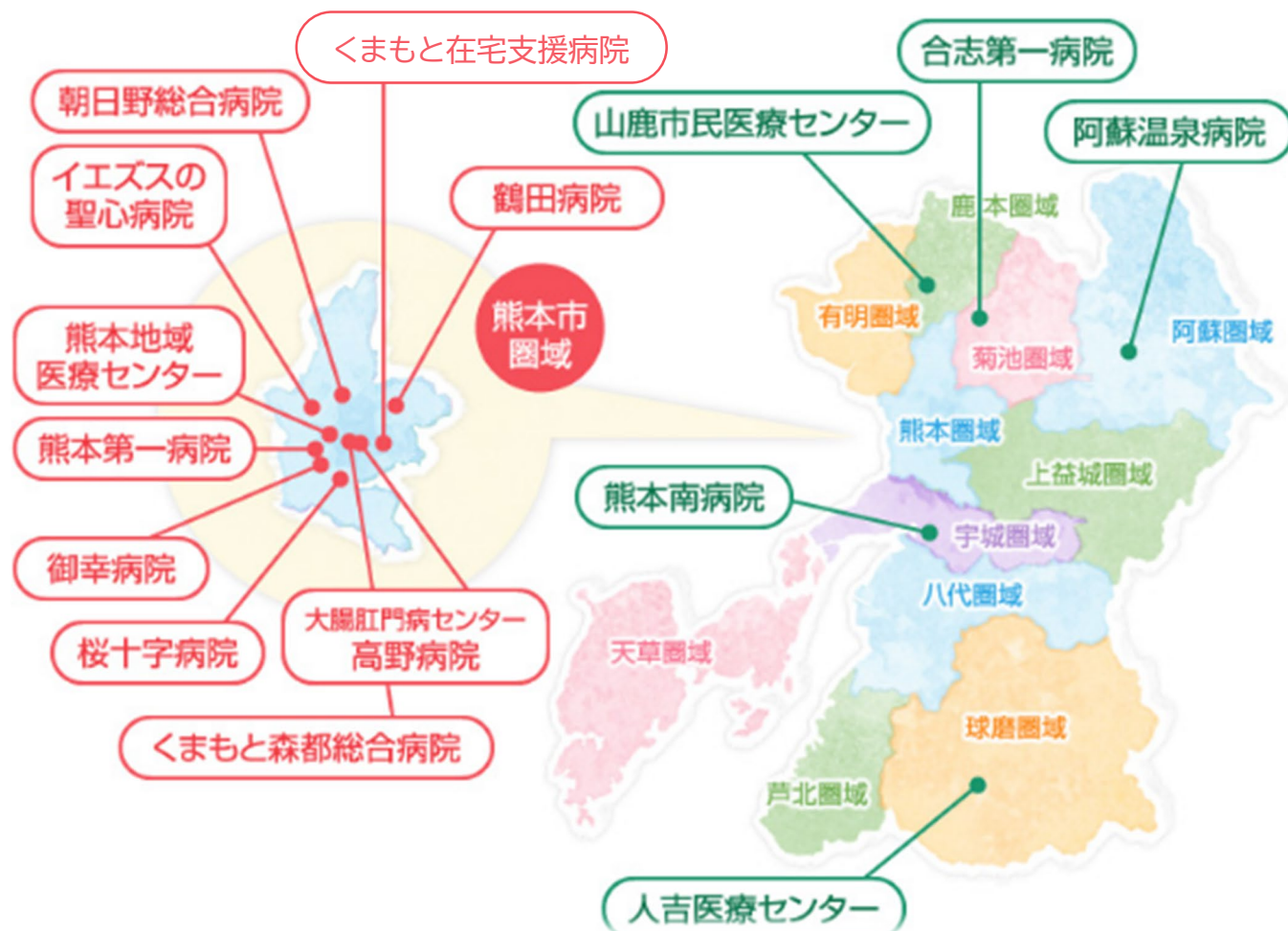


都道府県 がん診療連携拠点病院	国指定 地域がん診療連携拠点病院	熊本県指定 がん診療連携拠点病院
1 熊本大学病院	1 熊本労災病院 2 人吉医療センター 3 熊本赤十字病院 4 熊本医療センター 5 済生会熊本病院 6 荒尾市立有明医療センタ 二	1 熊本中央病院 2 熊本再春医療センター 3 熊本総合病院 4 水俣市立 総合医療センター 5 天草地域医療センター 6 天草中央総合病院 7 熊本地域医療センター 8 くまもと森都総合病院 9 大腸肛門病センター 高野病院 10 山鹿市民医療センター 11 熊本南病院 12 阿蘇医療センター 13 熊本市民病院 14 くまもと県北病院

緩和ケア病棟

緩和ケア病棟・ホスピスマップ

病院名をクリックすると、各病院のホームページが開きます。



県内に15か所
計278床の緩和ケア病棟を有している

入院・外来・訪問診療と多機能に緩和ケア
を提供する病院が多い

熊本圏域に緩和ケア病棟が集中しており、
緩和ケア病棟がない圏域も

熊本在宅緩和ケアマップ

熊本県在宅緩和ケアマップ

🏠 トップページ

ご覧になりたい医療圏域をクリックしてください。
市町村ごとに在宅ケアを行っている医療機関の情報をご覧いただけます。
修正・削除・新規掲載依頼は[こちらから](#)

※ 必ず、かかりつけ医にご相談の上、ご連絡ください。

医療機関名	西原クリニック	診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
所在地	〒864-0053 荒尾市西原町1丁目4番24号	午前 午後	9:00~12:30	○	○	○	○	○	休	休
電話番号	0968-62-0622	備考	14:00~18:00	○	○	○	休	○	休	休
e-mail	—	備考	予約制のため、必ず事前にご連絡ください							
ホームページ	https://www.nishibaru-clinic.jp/	駐車場の有無	—							

医療機関名	診療内容	対応状況
熊本 山鹿市	在宅（患者の自宅等）での看取り	行っている
菊池 菊池市	在宅療養支援診療所・在宅支援病院の施設基準	在宅療養支援診療所・機能強化型（連携型）
阿蘇 阿蘇市	在宅での医療用麻薬の持続皮下注射	対応できる
高森市	在宅でのTPN（Total Parenteral Nutrition、中央静脈栄養）	対応できる
上益城 御船町	在宅での経管栄養や胃瘻からの栄養管理について	対応できる
八代 八代市	在宅での尿道カテーテルの管理について	対応できる
芦北 水俣市		



Google

印刷する

2023年度緩和ケアセンター 実施事業

がん診療連携拠点病院機能強化事業(国予算)

事業名		開催日程
熊本県がん診療連携協議会緩和ケア部会(3回/年)		第1回：2023年5月10日(水) 第2回：2023年10月18日(水) 第3回：2024年2月21日 (水)
緩和医療の人的・組織的充実	緩和ケア研修会（熊大主催）	2023年7月30日(日)
	熊本緩和ケアカンファレンス（熊大主催）	2023年9月8日(金)
	緩和ケアチーム研修会	2023年11月5日(日)
	ELNEC-Jコアカリキュラム看護師教育プログラム	2023年12月2日(土)・3日(日)
	熊本県内がん診療連携拠点病院 病院訪問	2024年1月～2月
	緩和ケアセンター特別公開セミナー	2023年7月20日(木)
一般市民を対象とした緩和ケアの普及啓発	県民公開講座	2024年3月2日(土)：熊本城ホール
地域緩和ケア連携調整体制	在宅緩和ケアマップの更新	2023年～2024年 熊本県医師会と共同
	緩和ケアセンター広報誌Vol.10	2024年2月
	2022年度緩和ケア活動実績集計・HP掲載	2023年9月末
	リレー・フォー・ライフくまもと	2023年5月13日(土)・14日(日)

2023年度緩和ケアセンター 実施事業

緩和ケア提供体制発展事業(県予算)

事業名		開催日程
緩和医療の人的・組織的充実	栄養士のための緩和ケア研修会	2023年7月9日(日)
	くまもと地域ケア緩和薬物療法研究会	2023年7月15日(土)、2024年1月20日(土)
	熊本県緩和ケア従事心理職ネットワーク	2023年9月12日(火)、12月4日(月)
	くまもと緩和ケアWebラウンジ	2023～2024年 年6回(奇数月 第4金曜日)
一般市民を対象とした緩和ケアの普及啓発	県民公開講座	2023年10月22日(日) 【共催】天草地域医療センター・天草中央総合病院
	熊本日新聞折込広告	2024年2月15日(水)
	緩和ケアパネル展	2023年12月3日(日)、2024年3月2日(土) 熊本城ホール、緩和ケアセンターホームページ
地域緩和ケア連携調整体制	熊本県緩和ケア連携調整委員会	第1回：2023年9月26日 第2回：2024年2月21日
	熊本県緩和ケア専門協議会	第1回：2023年5月29日(月)

その他

事業名	開催日程
熊本大学病院緩和ケア専門委員会(院内専門部会)	2024年2月
熊本県・熊大緩和ケアセンター 定例ミーティング	2023～2024年 年6回(奇数月 第2木曜日)
熊本大学公開講座	2023年7月27日、8月3日、8月10日、8月17日、 8月24日(全て木曜日・全5回)

地域緩和ケア連携調整委員会立ち上げの経緯

地域緩和ケア連携調整員研修（2022年ベーシックコース）を受講して設定した課題

地域緩和ケアにおける医療資源の地域格差是正を目指して

【課題】

住み慣れた地域や自宅で安心して最期まで自分らしい生活がおくれる地域システムの構築が急務であるが、本県は医療資源の地域格差が懸念されている

地域緩和ケア連携調整委員会の設置

地域緩和ケア連携調整員研修を受講した県内の病院を対象とした委員会を県がん診療連携協議会緩和ケア部会の実働組織として設置。各施設・地域の課題や取り組み状況について共有する場づくりを行い、課題解決に向けた取り組みについて検討する。

【活動計画】

地域内の関係者と顔を合わせて意見交換を行う

- 過去に地域緩和ケア連携調整委員研修を受講した病院を対象に、2022年度キックオフミーティングを開催する。

新たな気づきとお互いの理解

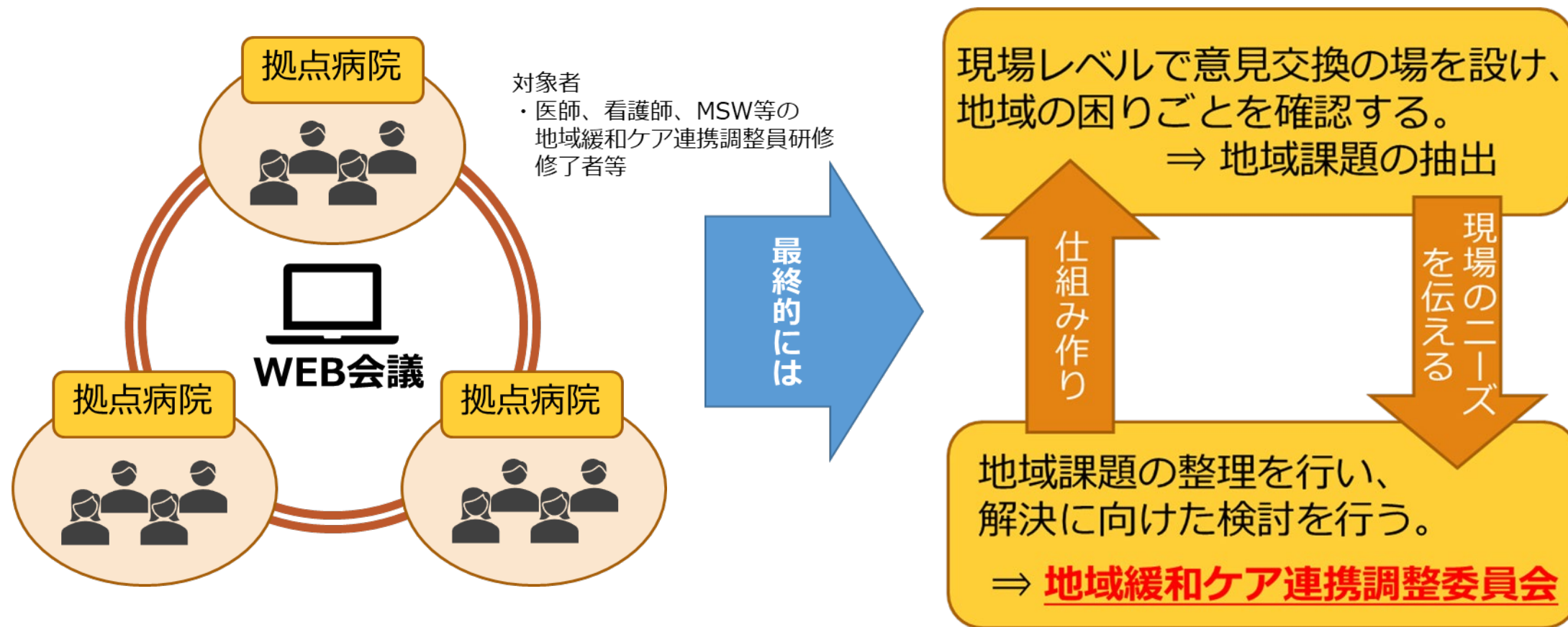
- 各施設の活動状況を共有する。

地域内の課題の共有が進み、解決に向けた協働が進む

- 共通課題を見だし、共に取り組むべき課題を明確にし、解決に向けて関係する団体とのコーディネート機能を果たしていく。

委員会は定期的に継続的に開催する

地域緩和ケア連携調整委員会の役割



地域緩和ケア連携調整委員会活動の状況

開催日	内容	名称
2023年2月23日	メンバーは、有明医療センター、熊本赤十字病院、熊本労災病院、済生会熊本病院、人吉医療センター、熊本大学病院の6施設の研修修了者で構成。各施設の課題設定や活動計画について共有。	地域緩和ケア連携調整委員会キックオフミーティング
2023年5月10日	県がん診療連携協議会緩和ケア部会において、 実働組織として 本委員会を設置することが承認された。	
2023年7月20日	活動状況報告、質疑、意見交換。 担当：人吉医療センター、有明医療センター	緩和ケアセンター特別公開セミナー
2023年9月26日	活動状況報告、質疑、意見交換。 担当：済生会熊本病院、熊本労災病院	2023年第1回地域緩和ケア連携調整委員会 ※以降は部会終了後に開催。オープン形式とした。
2024年2月21日	活動状況報告、質疑、意見交換。 担当：熊本赤十字病院、熊本大学病院	2023年第2回地域緩和ケア連携調整委員会
2024年5月15日	事例検討 人吉医療センター、有明医療センター、熊本労災病院より事例テーマをもとに発表。質疑、意見交換。	2024年第1回地域緩和ケア連携調整委員会

地域緩和ケア連携調整委員会活動の状況

各施設の活動内容

『あらおモデル』：医師会、行政と連携。がん医療と地域包括ケアをタイアップ。医師会が有志を募り、介護グループや認知症施設グループを作り、その勉強会に行政が入ってきたことが始まり。

『みのりの会』：熊本市東区訪問看護ステーションとの連携の会。地域包括ケアを見据え急性期から在宅サービスを利用し自宅退院を目指すシステムの開拓を目的とした勉強会を継続開催。

緩和ケアチーム回診に連携機関の病院医師、在宅医も参加し情報共有。（年間300件程度）

院内勉強会を毎月定期開催し、院内職員に向けた基本的緩和ケアの普及活動。

在宅医を交えた多職種カンファレンスを毎週開催。

八代地域の医療資源マップの作成と更新。医療施設、介護施設にアンケートをとり集約。

地域のマラソン大会や他施設のイベントに行政を巻き込んで参加し、地域に向けた緩和ケアの普及活動を実践。

地域連携緩和ケア研修会の充実、発展。

くまハート（がん記録ノート）体調や痛みの管理、ACPなど患者家族、医療者が共有できるツールを作成。データベース化し、KMNと連動させることを構想。

ICTを活用した地域連絡会等の企画。

【目標】

- 顔の見える関係構築を行う
- 緩和ケアに携わる医療関係者のネットワーク構築
- 活動の目的を繰り返し確認（意識づけ）、共有する
- 既に実践している他施設の好事例に学ぶ
- 場を積み上げていくことで地域緩和ケアが抱える大きな課題に一步步取り組んでいく

【成果】

各施設の現状と課題を共有することができ、顔の見える関係構築ができた。
他施設の好事例を学ぶ機会を得た。



場の継続・体制づくりへ

- 市町村を越えた県全体の地域連携活動に向けた準備
- 地域緩和ケアの課題の整理
 - 医療資源の地域格差
 - 死亡前およそ1か月で急速に全身状態が低下するがんの終末期の特徴を踏まえて、連携開始前からの地域リソースの把握
 - 小児緩和ケアやAYA世代患者への実践事例の共有、地域におけるサポート体制
 - 介護、福祉施設との連携
- 役割分担を行い、市町村行政、医師会等各職能団体やキーパーソンをつなぐ
- 緩和ケア部会の実働組織として公的な体制づくり